ｅスポーツ可能性広がる

ストリートファイターＶ　チャンピオンエディションの決勝で盛り上がる会場

初開催のｅスポーツイベント「グンマｅスポーツアワード（GeA）」（上毛新聞社主催）は18日、対戦ゲームのアイデアを競う「ｅゲーム開発部門」、ｅスポーツを活用した県内活性化案を競う「ｅ活性化部門」、ゲームの腕前を競う「ｅ競技部門」の３部門が行われた。会場はさまざまな年代の人が集まり、ｅスポーツの祭典を満喫していた。

ｅ活性化部門大賞

「ぼくたちだってスポーツがやりたい！」

二葉高等特別支援学校職員　村上　勇さん

余暇の活動に積極活用

「ｅスポーツによって子どもたちの感情表現が豊かになった。指先などのリハビリにもつながっている」。勤務する高崎市の二葉高等特別支援学校は車椅子を使ったり、手のまひがあったりするなど肢体に障害のある生徒が通う。寄宿舎では、余暇活動でｅスポーツを積極的に活用。プロのプレーヤーもサポート役として加わったことで、大会に出場した生徒もいる。大きな効果をもたらしているｅスポーツの可能性を感じたという。

校内のイベントだけでなく、ｅスポーツを通して他の学校や地域の福祉施設、医療機関との交流を図る未来像を思い描く。さらに卒業生によるｅスポーツサークルの結成も検討。「社会に出た後の悩みを相談できるコミュニティーの形成が大事」と意義を話す。

大賞受賞に驚き足が震えたといい「さまざまな人の支援のおかげ。子どもたちからも日々力をもらっている」と感謝する。

「本来は思い切り体を動かしてスポーツがしたい」その願いを〝実現〟できるｅスポーツは「ブラボー」と声を上げる。「二葉から社会を動かしたい」。活動は始まったばかりだ。

GeRってなに？ Gunma e-sports Rank
プロ部門
アマチュア部門
S A B C D E F
S A B C D E F

中央中等教育学校３年　倉林虎輝さん、黒崎晴斗さん、高野博斗さん

ゲーム列車で地域振興

最年少で出場した仲良し3人組が大賞を受賞した。「ｅスポーツで地域を進化させたい」との思いを込め、①独自のｅスポーツランキング「ＧｅＲ（ゲル）」②県内を観光しながら車内でｅスポーツができる「Ｒｅ2（レッツー）列車」―を考案した。

ゲルでは大会実績など審査基準に基づき、プロとアマチュア部門各7段階のランクを設ける。ｅスポーツを始めるきっかけづくりと県内施設の集客につながるよう、特典は施設の割引やレッツー列車の乗車権とした。

レッツー列車では車体と座席の間に特殊な緩衝材を敷いて揺れを抑え、プレーに支障が出ない工夫を施す。目的地となる温泉地や観光地の宿泊施設にｅスポーツ設備を設置し、地域とｅスポーツが相乗効果で活性化することを目指す。

「ゲーム内のランクを現実世界に取り入れたら」「電車で多くの人がスマートフォンを見ている。みんなでｅスポーツをすればいい」。日常で感じたことを柔軟な発想でまとめ上げた。「３人で協力してアイデアを実現していきたい」と目を輝かせ、先を見据えた。

ｅゲーム開発部門大賞

今後について
札が読まれたときその景色が出る

高崎高１年　黒沢　駿さん

ＶＲ空間で上毛かるた

県民に親しまれている上毛かるたを仮想現実（ＶＲ）空間で楽しめるゲーム「ＶＲ上毛かるた」を発表。「群馬が誇る郷土文化の上毛かるたとデジタル技術を掛け合わせ、群馬を活性化したい」と力強く訴えた。

お手付き機能や遠隔対戦機能など、多くの人が楽しめるように工夫を凝らしたと説明。開発したゲームを実際にプレーしている動画を交えながら魅力をアピールした。

本年度のぐんまプログラミングアワードでもファイナルに進出。入賞できなかった反省を生かし、絵札に関連する画像や情報が目の前に広がる機能を追加するなど、ＶＲの利点を生かすための改良案も示した。念願の受賞に「昨年の夏から育ててきた企画なので、結果が出て本当にうれしい」と顔をほころばせた。

「誰でも遊べるよう、将来的には（ゲーム用プラットフォームの）スチームで一般公開したい」と実用化が目標だ。「ＶＲ上毛かるたを通して、ＶＲをもっとメジャーにするとともに、上毛かるたの魅力を全国に広めていきたい」と力強く宣言した。

エキシビションマッチ

「太鼓の達人」選手らが奮闘

県内プロスポーツ３チーム

ザスパクサツ群馬、群馬ダイヤモンドペガサス、群馬クレインサンダーズの県内プロスポーツ３チームによるエキシビションマッチが、「太鼓の達人ドンダフルフェスティバル」を使用して行われた。選手やフロントスタッフら３人一組で戦い、合計得点を競った。

ペガサスが１位となり、高橋誠心選手は「純粋に楽しい。野球と手首のスナップが共通するかな」と笑顔を見せた。

地元を盛り上げようと３チームが一堂に集うのは異例。サンダーズのハーパー・ジャン・ローレンス・ジュニア選手らの奮闘ぶりに会場が沸いた。

エキシビションマッチで太鼓の達人ドンダフルフェスティバルに挑戦する選手ら

実況・解説

白熱の戦い盛り上げる

ｅ競技部門では試合の実況と解説が行われ、白熱した戦いを盛り上げた。それぞれの競技の特徴や見どころを紹介し、最新のアップデート状況や戦況を分かりやすく伝えた。

イベント開幕を飾った「eFootball」シリーズは、同タイトル世界大会覇者のＴＡＫＡＫＩさんが解説、全日本ｅスポーツ実況王決定戦（県主催）優勝のわんずさんが実況という〝王者コンビ〟が担当した。

「ストリートファイターＶ　チャンピオンエディション」は高崎市のプロプレーヤー、ひぐちさん（Saishunkan Sol 熊本）が実況し、古巣「忍ism Gaming」所属のヤマグチさんによる解説とともに熱戦を見届けた。

「ぷよぷよｅスポーツ」はへ～ょまはさんが実況、「グランツーリスモSPORT」は山中智瑛さん（ＤＫアソシエイション）が解説するなど、プロ選手ら計11人の実況・解説者が大会を彩った。

「eFootball」シリーズで実況するわんずさん（左）、TAKAKIさん

ストリートファイターＶ チャンピオンエディションで実況するひぐちさん（左）、ヤマグチさん

ｅ競技部門優勝

ぷよぷよｅスポーツ

高校生の部　桜井彩里沙さん（あ～ちゃん）＝高崎市　新華佳さん（はるか）＝埼玉県深谷市

降ってきたぷよぷよを連続で消す「連鎖」で対戦相手を全く寄せ付けず、圧倒的な強さで優勝した。桜井さんが5歳からぷよぷよを始め、県内外の大会で好成績を残す一方、新さんはほとんど初心者という異色コンビだ。

桜井さんは「危ない場面もあったが、（新さんが）敵の妨害を妨害してくれて2人で勝てた。うれしい」、新さんは「始めたばかりだが、下手なりに頑張れた」と笑顔を見せた。

オープンの部　小茂田諒さん（ダダ）＝伊勢崎市　生形智也さん（えるぴす）＝前橋市

決勝戦は一進一退の攻防。小茂田さんが「練習の成果が出た」と語るように、息の合ったプレーで頂点に立った。1週間ほど前から2人一緒に、時間が合わない時は個人でも練習を重ねた。

優勝が決まると、小茂田さんはほっとした表情を見せ、生形さんは「大人数の前だったが、適度に緊張し、楽しくできた。こういう勝ち方をしたいというゲームができた」と誇らしそうに語った。

eBASEBALLパワフルプロ野球2022

オープンの部　桑原和孝さん（群馬国）＝伊勢崎市

決勝で勝利を決めた瞬間、満面の笑みで腕を高らかに突き上げ、喜びを爆発させた。

格闘ゲームの大会に出場はしていたが、優勝は初めて。決勝は2点を追う苦しい展開だったが、「ワンチャンスは必ず来る」と焦りはなかった。三回に3点を入れ逆転に成功。さらに四回、怒濤の攻撃で4点を加えて突き放した。「劣勢で勝てたのでその分うれしかった」と熱を帯びて語った。

「eFootball」シリーズ

企業の部　戸塚栄成さん（会社員Ｔ）　片山浩平さん（公務員Ｋ）＝ともに高崎市

高校の同級生で、eFootballを19歳から毎日2人で練習してきた。

大量得点を狙う攻撃的なスタイルが持ち味。準決勝は1―0と苦戦。決勝も先制点を許したが、「練習量は誰にも負けない。取られたら取り返せばいい」と平常心を心がけ、本来のプレーを取り戻して4点を奪い逆転した。「技術を磨き、親友と連覇し続けたい」。長年培ってきたコンビは笑顔で口をそろえた。

オープンの部　奥村光一さん（Kouboy）＝高崎市

群馬ダイヤモンドペガサスの外野手として活躍しており、アスリート持ち前の勝負強さを発揮した逆転劇で優勝した。

前半にオウンゴールで先制を許したものの、後半に連続得点で2対1に。そのまま勝利を手中に収めた。2週間ほど練習し、集中力が高まったという。

「ｅスポーツからはいったん〝引退〟して4月開幕の本業に専念する。野球も応援してほしい」と話した。

グランツーリスモSPORT

オープンの部　野島俊哉さん（のじま）＝茨城県つくば市

決勝に残った8人による全5周の一発勝負で、2周目に首位を奪取。ブラジルに実在するサーキットを舞台に、コース特性を生かした走りで後続の猛追をかわし、勝ち切った。

Dステーション・レーシングの選手として、数々のオンラインレースで活躍している。決勝戦を共に走った7人が拍手でたたえる中、開口一番で感謝し「クリーンなレースでうれしかった」と喜んだ。

太鼓の達人ドンダフルフェスティバル

55歳以上の部　富沢恵子さん（ケイコさん）＝太田市

ピアノ教室で指導しており、持ち前のリズム感を武器に頂点に立った。「（ピアノの）鍵盤と違って難しかったが、優勝できて良かった」と喜んだ。

ゲーム経験はなく、太鼓の達人に触れたのも1週間ほど前が初めて。自宅での練習中には、様子を見ていた夫も一緒に楽しんだという。

「年齢に関係なくプレーできる。今後の夫婦の新たな楽しみができた」とはにかんだ。

オープンの部　中島颯人さん（とんかつ）＝伊勢崎市

フルコンボ対決を制した高校2年生が頂点に立った。「すごい緊張したが、優勝できてうれしい」と笑顔がはじけた。

4年ほど前に初めてプレー。現在は月2回ほどゲームセンターに通い腕を磨く。腕前に応じて階級があるタイトルで、現在は上から5番目の十段。最高位である達人が今後の目標だ。「（太鼓の達人は）一生打ち込めるもの。死ぬまで現役でやり続けたい」

ストリートファイターＶ　チャンピオンエディション

オープンの部　松浦圭さん（松五郎）＝高崎市

3ラウンド先取の戦いを3―1で制した。キャラクター「ララ」の使い手として知られる対戦相手、みしえさんに、ララで挑んだ決勝戦だった。

みしえさんの投稿動画からララの操作を学んだというが、「動きは読めなかった」と明かす。それでも、切り札やスキルで独自の色を出したことが勝利につながった。「優勝できて、めちゃめちゃうれしい。ベストを尽くした」と話した。

グンマｅスポーツアワード

出場順、敬称略

ｅゲーム開発部門		
全方位型弓矢バトル ARROW（アロー）	山根　洋平	サンダーバード
上毛かるたeスポーツ	村上　勇	二葉高等特別支援学校職員
	村上　璃恩	高崎並榎中2年
	村上　萌瑛	高崎六郷小1年
ふくろうの冒険～ふくろうとゴールを目指す対戦型タイムトライアルゲーム～	島田　実和	高崎佐野小5年
群馬ゆるキャラオンライン弾避けゲーム	矢沢　枢	前橋一中2年
	矢沢　至	前橋桃井小5年
VR上毛かるた	黒沢　駿	高崎高1年
ｅ活性化部門		
eスポーツによる循環型人財育成と地域活性	南　征吾	群馬パース大リハビリテーション学部教授
	洞口　貴弘	群馬パース大リハビリテーション学部講師
	石代　敏拓	群馬パース大リハビリテーション学部助教
世界初・答え合わせできる英語スピーキングテストによる「全群馬学校選抜eスポーツ競技大会谷川岳登山駅伝」	田淵　龍二	ミント音声教育研究所
	佐藤　光由	群馬ミヤマ山岳会
eスポーツハブコミュニティ	泉水　清志	育英短期大現代コミュニケーション学科 学長補佐 学科長 教授
	大島　宗哲	育英短期大現代コミュニケーション学科准教授
「e-Sportsで、変える。」e-Sports Pay	茂木　竜聖	中央情報大学校情報システム学科1年
	長沼　竜正	中央情報大学校高度ICTデザイン学科1年
eスポーツで特別支援学校をブラボー！に	村上　勇	二葉高等特別支援学校職員
Let's do Re2	倉林　虎輝	中央中等教育学校3年
	黒崎　晴斗	中央中等教育学校3年
	高野　博斗	中央中等教育学校3年
仮想空間の世界 VR、AR、メタバース	石坂　龍也	中央情報大学校情報システム学科1年
グンマー最強から全国最強へ～eスポーツで太田市が進化する～	佐藤　義恒	太田市役所eスポーツ部
	高橋　洋平	太田市役所eスポーツ部
	大沢　優太	太田市役所eスポーツ部

審査委員

総評　利点生かした企画を

宇留賀敬一副知事

ｅスポーツについて本県は行政主導でやってきたところがあるが、本大会にはほとんど関わらず、ｅスポーツのコミュニティーをみんなでつくっていく可能性を感じた。こういうイベントを各地のコミュニティーでもやっていい。その総本山としてこのイベントが発展していくと、本県のｅスポーツが他地域とは違ったものになる。

地域活性化のアイデアでは、ｅスポーツの利点を生かし、健常者と障害者も違いがなくなるような企画などを考えてもらいたい。中央中等の生徒が考案したランキングも、どうにするとより面白くなるか考えてほしい。太田市のプレゼンが光っていた。県庁として、これから一緒に企画するという形で練っていきたい。

フリーキャスター　伊藤　聡子氏

開発部門はオリジナリティーあふれ、地域の良さを再発見することに主眼が置かれた。活性化部門も若い力で地域を盛り上げる視点が多く、ｅスポーツの聖地として群馬が君臨するため、大きな期待ができる内容だった。

糸井商事社長　糸井　丈之氏

開発、活性化両部門とも目新しく、ＧｅＡならではの群馬にこだわった提案はｅスポーツによる地域活性化の高い潜在性を感じさせてくれた。新たなアイデアが浮かんだ人もいるだろう。ぜひ、その種を育ててほしい。

放送作家　岐部　昌幸氏

群馬がｅスポーツに力を入れてしばらくたつが、年々にぎやかになっているのをすごく実感した。他にないｅスポーツを提案するなど良い企画だ。群馬から全国へ発信するイベントとして大きくなっていってほしい。

上毛新聞社社長　内山　充氏

活性化部門は特に審査が難しかったが、それぞれの提案には群馬の明るい将来性があった。「誰でも」がキーワード。性別や障害の有無、年齢など違いを乗り越えて一つになれるｅスポーツの大きな可能性を感じた。

本県出身など３人ライブ

カノエラナさん

KIE Andersonさん

競技の合間に音楽ライブが行われ、本県出身アーティストら３人が弾き語りでイベントに花を添えた。

シンガー・ソングライター、KIE Andersonさん（安中市出身）は「ピンクレモネード」、ロックバンド「Ivy to Fraudulent Game」のギター・ボーカル、寺口宣明さん（桐生市出身）は「オートクチュール」などをそれぞれ美しい声で届けた。

カノエラナさんは高崎市でアルバムを制作した思い出を語り、迫力ある歌声でテレビアニメのテーマ曲「ヨトギバナシ」などを披露した。

寺口宣明さん

GUNMA eSPORTS AWARD
グンマeスポーツアワードを今後も盛り上げていきます。
トップパートナー　CAINZ　OPEN HOUSE GROUP　糸井商事
ゴールドパートナー（五十音順）　コーエィ株式会社　GOKO human link corporation　佐藤工業(株)　創美社 PHOTO MOVIE CREATIVE ENTERTAINMENT　TAGO STUDIO TAKASAKI　Dospara COMPUTER SHOP ドスパラ　BOLTONE
主催：上毛新聞社　特別後援：群馬県　後援：群馬県教育委員会、群馬テレビ、エフエム群馬、特定非営利活動法人北米教育eスポーツ連盟日本本部
運営：糸井ホールディングス/GUNMA eSPORTS

今日 2/19 日　ビエント高崎ビッグキューブ　10:00～16:00
入場・体験無料
GeAのステージでeスポーツ体験ができる!!
実際に選手が戦ったステージを使って、eスポーツプレイヤー気分を味わおう!
次回は2024年2月に開催決定！